

平成28年度 第1回 伊万里市水道審議会議事録

1. 日 時：平成29年2月27日（月） 13時30分～14時45分
2. 開催場所：水道部内会議室
3. 出席者：
 - (1) 委員：力武委員、川原委員、崎田委員、吉田委員、松永委員、桑原委員、前田和幸委員、井手委員、前田鈴子委員、富永委員
(犬塚委員は都合により欠席)
 - (2) 事務局：吉永部長、中里副部長(兼)工務課長、池田管理課長、古賀所長、山口浄水場管理事務所副所長(兼)浄水係長、原田工務課副課長(兼)維持係長、古竹営業係長、小寺おいしい水プロジェクト室係長、畠山工務係長、内山管理係長、井手管理係員
 - (3) 傍聴者：なし
4. 内 容：
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付式
 - ①部長より代表して力武委員へ交付
 - ②審議会委員の紹介及び事務局職員の自己紹介
 - (3) 水道部長のあいさつ

本日は、大変お忙しい中に、水道審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃より本市の水道行政につきましては、特段のご理解、ご協力を頂いておりますことに、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

水道審議会は、条例により「水道事業に関する重要な事項について、調査及び審議するために設置する」とされているところでございます。しかし、特に重要な審議等がない場合におきましても、年に1回は審議会を開催して、委員の皆様へ決算状況、次年度の予算、実施中の事業等を報告させて頂いているところです。先程は、委員の方々に辞令書を交付したところですが、皆様には、今後ともご指導ご鞭撻を宜しく申し上げます。

水道事業は、「市民生活に欠くことのできないライフラインであり、安全で安心な水の安定供給を使命」としておりまして、施設の維持管理はもとより、水道事業の健全な経営に努めなければならないと思っております。

平成27年度の決算では、当年度純利益が約4,200万円の黒字決算となったところであります。

今年度は、漏水や大きな事故もなく安定して給水が出来たところです。しかし、4月の熊本地震における応急給水活動や応急復旧作業に派遣を行ったところです。また、夏から秋にかけての降雨がなく、漏水の心配がありました

水などはなく良かったと思っておりますが、残念な事に、国道202号線での国道陥没事故などが発生したところです。

建設事業では、「おいしい水プロジェクト」を掲げ、市の水道の約80%を賅っております有田川浄水場の更新事業を、平成25年度から平成28年度までに完成させる予定でしたが、工事期間を敷地狹隘や既設埋設管の切り替え及び、新浄水施設への切り替え調整に不測の日数を要したところから、1年間延伸し、来年度に配水する予定としたところです。

また、有田川取水・導水施設更新事業を3か年継続で実施しており、併せて管路の耐震化事業も実施しております。

本日の審議会では、平成27年度の決算状況の他、3月1日に開会となる市議会に提案しております簡易水道事業の統合に伴う条例議案及び、当初予算、並びにこれからの水道事業における経営戦略や水道ビジョン策定などについてご説明させていただきますので、宜しくお願いします。

本日は、ご出席ありがとうございます。

(4) 会長及び副会長の選任

委員提案により事務局一任となったため、事務局案として、会長に川原委員、副会長に松永委員を提案し、出席の全委員の了承を得る。

(5) 会長のあいさつ

皆さん、あらためましてこんにちは。ただ今、会長という大役を引き受けた川原です。私は滝川内出身で、毎年開催している竹の古場のつつじ祭りの実行委員長をしています。今年もやりますので、皆さん是非おいでいただきますよう、よろしくお祈りします。

伊万里市の水道事業は、大正4年に始まり、100年以上たつということをお聞きしています。この水道事業については、伊万里市民の皆さんの生命線ともいえる水道水の安全性と、安定供給のための維持管理が行われていると思います。予算的にも多額の資金が動いており、また、水道管の老朽化、水資源の確保、あるいは浄水場施設の整備が計画され、経営戦略や水道ビジョンの策定など、課題が山積しているように思います。

水道事業というのは、皆さんの心臓部であると思っています。

これからいろいろな議題がありますが、議事進行がスムーズにいきますよう、皆様の協力を受けながら進めてまいりたいと思います。

最後までどうぞよろしくお願いします。

(6) 議事

会長による議事進行（質問は最後に一括して受け付け）

①管理課長より平成27年度水道事業特別会計の決算について説明

（審議会資料 P. 1-3）

②管理課長より簡易水道事業の統合について説明

(審議会資料 P. 10)

③管理課長より平成 29 年度水道事業特別会計の予算について説明

(審議会資料 P. 4)

④工務課長より主な建設事業について説明

(審議会資料 P. 5-7 及び別冊資料)

・委員より

耐震化というのは、今までは建屋についていわれてきましたが、水道管も耐震化が必要ということで、今の計画ではダクタイル鋳鉄管というものに替えるということで、相当費用もかかってくると思いますが、今までの管がどのような材質のもので、ダクタイル鋳鉄管に替えるということはどのように地震に耐えられるものになっていくのですか。

【事務局】

更新により、ダクタイル鋳鉄管のNS形という耐震性のあるものに替えますが、今までのものもダクタイル鋳鉄管のA形やK形といわれるもので、継手構造が違うだけで、材質としてはほぼ同じものです。今までの管は抜けやすかったのですが、耐震管になるとかなりの強度が加わっても引き抜けない構造になっています。

・会長より

できれば、今現在がこのようなもので、今後こうなるというのが、写真があればわかりやすかったですね。

・委員より

川東線の平成 29 年度の工事で、線路の下の部分だけ配水管の口径が 400 ミリで、あとは 200 ミリとなっていますが、なぜここだけ口径が大きいのでしょうか。

【事務局】

施工場所が線路の下で開削ができませんので、線路を挟んだ前後に立坑を掘り、口径の大きな管をあらかじめ入れて、平成 30 年度にその中に 200 ミリの管を通すこととなります。管の隙間はモルタルで充填します。

・委員より

2 重構造になるということですね。

・委員より

簡易水道事業統合の議事で、平成 28 年度に黒川町花房地区の統合整備が完了するとあり、工事が終わりつつあるのかなと思います。私も黒川でございまして、深山・大平山付近に住んでいるものです。前回の審議会の時にもお尋ねしたので

すが、給水人口は9割を超えているということで、市内全体に給水がいきわたっているようですが、黒川町では、花房地区と深山地区が未整備区域になっていましたが、花房の整備が終わり、私たちの地区が未整備となっています。将来的には冒頭におっしゃった安定的な給水を願っているのですが、今は、清水という湧水を飲料としていますので、必ずしも安全ではないと思っていますので、こういった上水の配水をとっています。ただ、かなり負担が高いということですので、今後の未整備地区の推進計画というのはどういう風に考えていらっしゃるかお聞きします。

【事務局】

立目、横野、清水、牟田の4地区については、牟田の1箇所だけが環境センターのほうでやられていて、後の3地区の水事情についてはわかっています。ただ、事業として持っていくためには、4地区全員の同意がほしいと思っています。3地区だけ同意されても1地区残りますので、その地区が後で水道水がほしいということになっても、地区まで上げる管路の大きさなどが変わってきますので、地区の意見をまとめていただいて、是非水道がほしいという要望があれば、水道部としても動かざるを得ないという思いは持っています。

ただ、今年度で統合事業が終わりますので、補助金がありません。平成31年度ごろにはまた新たな交付金が出てくるのではと思っていますので、その時期になりますと、補助金による整備という進め方もできるのかなと思っています。資料にも書いていますが、市長に一般会計から繰出をお願いして、未整備区域については、解消していきたいと思っています。

・会長より

伊万里市は土地が広いですから、地区によっては、未整備区域もあると思います。行政側と地区との話を行いながら、進めてほしいと思います。

・委員より

先ほど簡易水道の統合について説明がありましたが、29年度から統合ということで、簡易水道がなくなるわけですが、簡易水道は地理的要件が非常に厳しく、それだけ費用がかかるということで、今まで高料金対策という国の制度で補助金があったのですが、経営的には統合すればそれがなくなるということですよ。上水道となれば、高料金対策は資本費との関係で受けることができなくなると思いますが、影響として今後減少するということですけど、例えば高料金対策については、5年とか10年の経過措置というのはあるのですか。あと、起債の償還についても助成があったかと思いますが、そのまま継続していくのか、そのへんがわかればお願いします。

【事務局】

まず高料金対策ですが、平成28年度末で統合して、29年度から10年間は

旧簡易水道分としての措置があります。現在、年間2,000万円程もらっていますが、6年目から段階的に減っていき、10年目には1割となります。

企業債について、これまで、簡易水道地区で企業債を借りた場合、返済額の約半分を一般会計からの繰入金としていただいています。今後どうなるかわかりませんが、今のところ、過去の方はこれまでどおりもらえると思っていますが、統合しましたので、新規の分は当然ないということになります。

⑤管理課長より経営戦略及び水道ビジョンについて説明

(審議会資料P.8-9及び別冊資料)

*質疑なし

⑥その他

*各委員からの意見等

- ・ 伊万里は市域が広いので、施設などにお金がかかり、それが料金に跳ね返るのはわかるが、ただでさえ高いから、なるべく料金値上げを避け、料金を上げるにしても、少なく済むような方策をとっていただきたい。
- ・ 水道料金を値上げした場合の一般家庭への周知方法について。
- ・ 資料がわかりづらく、言葉だけでは理解しにくいところがあるので、図面を指図したり、パワーポイントを使うなどして、説明がわかりやすいようにしてほしい。
- ・ 管路の耐震化は、基幹管路という大きい管だけでなく、細かい管も必要なのか。
- ・ 会長より
ほかにございませんでしょうか。時間も過ぎていきますので、これで終わりたいと思います。本日はご協力ありがとうございました。